

～特別委員会報告～

決算特別委員会

【平成23年度決算について】

9月定例会以降6回委員会を開き、各事業の予算が議決の趣旨に沿って適正かつ効率的に執行され、所期の目的が十分達成されているかどうか留意し、慎重に審査し、12月定例会で認定しました。

○審査における主な意見

1. 一般会計歳入について

- (1) 自主財源の安定確保と税の公平負担の観点からも、今後とも丁寧な納税相談を実施するなど、引き続き市税の徴収率向上に努められたい。
- (2) 一部法人の大口滞納問題については、依然として収入未済額の大部分を占めている状況は変わっていない。今後ともさまざまな対策についても研究し、引き続き積極的な滞納整理を進め、収入未済額の縮減に一層努められたい。

2. 一般会計歳出について

- (1) 入札に当たっては、透明性の確保はもとより、入札参加資格を考慮し、地域産業の育成に配慮しつつ、適正な競争が行われるよう努められたい。
- (2) アスペン市との交流については、これまでの総括を行い、期待される今後の交流のあり方を検討されたい。
- (3) 生活路線バスは交通弱者にとって生活に直結した課題であり、市民が快適に公共交通の恩恵を受けられるように、新しい交通システムも含めて十分検討されたい。
- (4) 民生委員の職務内容が複雑多岐にわたっていることなどから、後継者不足に悩む地域が生じてきている。民生委員の負担が軽減されるようさらに検討され、後継者が引き継ぎやすい環境の整備に努められたい。
- (5) 社会福祉協議会補助金の地区社協活動分は、勝山市福祉基金を取り崩して一般会計に繰り入れて財源に充てている。基金の意義や地区社協の活動内容を勘案し、今後の予算計上について検討されたい。
- (6) 商工業の振興策については、地元業者の育成につながる「ものづくり技術・研究開発支援事業」などの取り組みを積極的に推進され、さらに成果が上がるよう努められたい。
- (7) 中山間地の小規模な圃場を守っている耕作者に対して、勝山型農業が継続できるような支援方策を検討するとともに、他の地域や他の産業からの新規就農者が増えるよう努力されたい。
- (8) 「ゆめおーれ勝山」については、観光客

のまちなか誘客に向けて、一層魅力ある施設となるよう工夫されるとともに、経費節減に努め、効果的な事業運営に努められたい。また、指定管理制度の活用を含めて今後の在り方について検討されたい。

- (9) 指定管理施設にかかる修繕費がかさんでいるケースが見受けられる。事前に精査し、適切に対処されたい。
- (10) 法恩寺山有料道路の除雪費等を含む維持管理費については、市の負担となっているが、厳しい財政状況を十分踏まえ、今後とも経費負担のあり方も含め経費が軽減されるよう粘り強く交渉されたい。
- (11) 河川局部改良（県単）事業負担金や、国県道改良事業負担金について、市に対して負担を求めないように引き続き県に対し強く申し入れられたい。
- (12) 通学路の安心安全対策については、降雪期の安全確認を行い万全を期されたい。
- (13) 図書館の運営について、市民がさらに利用しやすくなるように、開館時間の見直しや映像資料の充実など、サービス向上策を検討されたい。

3. 特別会計について

- (1) 国民健康保険特別会計については、国保税の徴収率を高い水準で維持していることは評価するが、依然として厳しい運営を強いられていることに鑑み、国庫負担等の引き上げについて要望されるとともに、国保税のあり方及び国保会計の健全運営の方策について検討されたい。
- (2) 国民健康保険特別会計、介護保険特別会計における医療給付費、介護サービス給付費が増加傾向にある。
病気の予防や健康増進にかかる施策については、さまざまな事業を展開されているところであるが、庁内各課が連携して、さらに積極的に推進するよう努められたい。
- (3) 簡易水道事業における条例の遵守あるいは条例改正については、これまで指摘しているところであり、未達成の地区については、今後とも引き続き地元と協議を進め早急に改善されたい。

◎水道事業会計決算について

水道事業の経営に当たっては、各地区簡易水道の上水道への統合などにより、今後とも厳しい経営状況が続くものと懸念される。

このような状況に鑑み、水道事業会計の健全な運営を維持するため、一般会計からの繰入れについて調査、研究を続けるとともに、社会情勢の変化を見据えながら、一層の経費節減と合理化に努め、健全な経営に努力されたい。